

# 地域連携教員の1年間(例)

地域連携教員が中心となって、学校と地域が連携・協働することで、子供たちの「生きる力」を育むための『地域とともにある学校づくり』を推進しましょう。

## 連絡調整や情報収集・発信

まずは、学校の「地域コーディネーター」と、知合いになりましょう。



- ・学校の教職員一覧
- ・日課表
- ・地域連携年間活動計画などをお渡ししましょう。

地域連携教員の役割を確認し、教職員間での共通理解を図りましょう。

### 【地域連携教員】

- ・地域コーディネーターとの連絡調整
- ・各種様式の準備
- ・計画の作成 等



### 【担任】

- ・ボランティアとの打合せ
- ・記録、評価の作成
- ・計画の作成 等

## 連絡調整や情報収集・発信

情報発信に関する各担当者と連携し、ホームページや学校便り、学年便り等を通じて、学校の情報を地域に発信しましょう。《校外への発信》

### 【発信する情報内容の例】

- ◆地域学校協働活動の様子
- ◆地域コーディネーターの紹介
- ◆ボランティアの紹介
- ◆必要な支援についての依頼



学校内に、活動状況を広報する掲示板を設置することで、地域学校協働活動について理解の深まりも期待できます。《校内への発信》

## 取組の充実

地域との連携・協働活動をより充実させるために、その成果を測定し、評価をしましょう。活動に関する事後評価の蓄積や学校評価を活用して、課題を明確化し、次年度につなげましょう。

### 【評価の目的】

- 活動の効果を見る
- 取組の改善を図る
- 意欲を喚起する
- 組織の活性化を図る

### 【評価対象例】

- 児童生徒
- 教職員
- 保護者 等

### 【評価方法例】

- アンケート
- 観察
- 作文
- 話合いや聞き取り 等

月	活動内容(例)
4	○地域コーディネーターと情報交換、役割確認 ○計画等の確認 ・共通理解 ○校内における地域連携教員の役割や取組についての確認 <b>Plan</b>
5	○校内研修の企画・運営 ○地域連携教員研修等への参加 ・報告(通年)
6	○地域との連携・協働活動のための各種様式(打合せ用紙、アンケート・評価用紙等)の準備
7	○情報収集・発信(通年)
8	
9	○地域学校協働活動の実施(通年) <b>Do</b>
10	○実践記録や振り返り・評価のとりまとめ(通年) <b>Check</b>
11	
12	
1	
2	○学校評価の検証 ○今年度の成果と課題のまとめ <b>Check</b>
3	○次年度へ向けた計画等の改善・作成 <b>Action</b> ○現職教育との関連を図った校内研修の企画

☆ 地域と学校の連携・協働活動をコーディネートしてくれる方を、市町によって「地域教育コーディネーター」「地域学校協働活動推進員」と呼びますが、栃木県ではそのような立場の方を『地域コーディネーター』と統一して呼称します。

## 連絡調整や情報収集・発信

各学年担任や行事担当の先生方からのニーズをまとめ、「地域コーディネーター」に伝えましょう。

### 【教職員のニーズ調査】(調査内容の例)

- 学年 ●教科、単元、行事名 ●活動内容(依頼内容)
- 必要な人材、団体
- ※ 調査結果をまとめておくことで、地域連携の全体計画に盛り込みやすくなります。

調査結果は、地域連携教員が一覧表にまとめ「地域コーディネーター」に渡しましょう。

## 取組の充実

活動が終わったら、担当者に実施記録や児童生徒の振り返りをまとめてもらいましょう。



## 総合調整

PDCAサイクルを活用して、次年度の計画を作成しましょう。

### 【PDCAサイクルの例】

**【Plan】**  
既存の計画に、今年度のニーズを盛り込む。

**【Do】**  
地域学校協働活動を実施する。

**【Action】**  
評価をもとに、計画を改善する。

**【Check】**  
振り返り等をもとに、活動の効果を評価する。

